(略称)一九五八年砂糖協定の一九六六年の再延長議定書

昭和四十二年 昭和四十一年十一月十四日 月 日 ロンドンで作成 効力発生

昭和四十一年十二月 六 日

署名の閣議決定

昭和四十二年 一 月

日

効力発生

昭和四十

一年十二月十六日

署名

議定書の		
議定書の効力延長並びに協定の当事国	次	
協定の当事国		
	次	昭和四十二年 三 月 三 日
	ページ 	(外務省告示第三六号)訳文及び効力発生の告示

九五八年砂糖協定の一九六六年の再延長議定書

第 前

定書 用 玉 L

な の 効 Ļ, 協 力

定 延 Ħ

第三条 第二条 条 文

当事 適 議

となる手

続 条 長 並 項 び 協 定 0) 当

(-)

末	第	第		第	第	第	
	八	七 条		六	Æ	四	
文	条	条		条	条	条	
•	効	分	る	_	効	加	
:	力	担	措	九	力	入	
÷	力 発	金	置	六	発	0	
;	生			ДÜ	生	入の手	
	の 通		÷	年		続	
	通	i	i	_	÷		
	告	:	÷	月			
i		÷	÷	_	į	÷	
	÷	÷	•	日	÷	:	
:	:	:	•	前		i	
÷		i	÷	0		i	
	÷		:	tzi.		÷	
÷	:	:		<i>m</i> ⇔	÷		
	÷	÷		ゼ	i		
÷	i	:	÷	/ /+	÷	:	
			;	美	:	Ė	
	i			武		÷	
÷			i	前の協定又は議定書の当	÷	i	
:		÷		書		Ė	
:	:			(/)	i		
	÷	i		当		÷	
į	•	•		事	÷	:	
•	÷			玉	•		
i	•	÷	•	事国に対	÷	•	
:	:	:	:	対		•	
•		i		す	÷		
	i		÷		•	į	
	i	÷	•		•	•	
:	:	•	•		÷	•	
:		i	i			÷	
:					•		
	Ŧī.		四				
-							

訳文

千九百五十八年の の議定書 玉 際砂糖協定の 有効期間の再延長の

との議定書 0 当 事 国政府 は

九百五十八年

の国

際砂糖協

定

0

有効期間

の延長

のための千

効期間 六年十二月三十一日に効力を失うこととなることを考慮し、 0 九百六十三年 八年の が議定 書」という。 国際砂糖協定(以下「協定」といり。)が、千九百六十 の再延長のための千九百六十五年の -の議定 書 により有効期間が延長された千九百五十 及び千九百五 十八年 , 議定書 0 国 際 砂糖協 (以下「従前 定の有

K .検討する 協定に代 意図 わる を 新 再確認 たな国 Ū 際砂糖 協定の ため 0 可能 な基礎を緊急

ずるまで、新たな期間について協定を存続させることを希望し

連合の主宰の下における新たな国際砂糖協定

が効力を生

玉

際

次のとおり協定した。

第

条

間 4 協定 で、 九百六十八年十二月三十一日まで、 は 引き続き効力を有する。 この議定書第二条の規定に従うことを条件として、 との議定書の当事国

九五八年砂糖協定の一九六六年の再延長議定書

PROTOCOL FOR THE FURTHER PROLONGATION INTERNATIONAL SUGAR AGREEMENT

た

The Governments party to this Protocol,

of the International Sugar Agreement of 1958 Protocol of 1965 for the Further Prolongation national Sugar Agreement of 1958 and the "the Agreement"), as extended by the Protocol of 1963 for the Prolongation of the Inter-Agreement of 1958 (hereinafter referred to as Considering that the International Sugar

for a further period pending the entry into under the auspices of the United Nations; force of a new International Sugar Agreement Desiring to continue the Agreement in force cols") will expire on 31 December 1966;

(hereinafter referred to as "previous proto-

consider possible bases for a new International Sugar Agreement to replace the Agreement: Reaffirming their intention urgently to

Have agreed as follows:

Article

Agreement enter into force before Agreement shall continue in force between the this Protocol shall cease (1) Subject to the provisions of Article 2, Should a new International Sugar Protocol until 31 December to have that date,

new

項い適 協用 定条 条

な

S

ものとする。

第三条

第四十二条並びに第四十四条⑷及び⑺の規定は、

適用され

なる手続と

(1)

各政府は、次のいずれかの方法によりこの議定書の当事国

となることができる。

この議定書に署名すること。

(b) (a)

後にこれを批准し、受諾し、又は承認すること。

批准、受諾又は承認を条件としてこの議定書に署名した

協定第三条②及び③、第七条から第二十五条まで、 となるものとする。 るものは、これにより、 第二条 第四十一

協定の当事国でなかつた政府で、この議定書の当事国とな 有効期間が延長された協定の当事国

(2)

International Sugar Agreement. the date of the entry into force of (2) Any Government which was not party to the

Protocol shall thereby be deemed to be a party Agreement but which becomes a party to this

to the Agreement as extended in force.

cles 7 to 25 inclusive, Articles 41 and 42 paragraphs (4) and (7) of Article 44 of the Agreement shall be deemed to be inoperative. Paragraphs (2) and (3) of Article 3,

Article

:0

Protocol (1) Governments may become party to this

(a) by signing it: 10

(b) by ratifying, accepting or approving ratification, acceptance or approval: it after having signed it subject to

(c) by acceding to it.

its signature is, or is not, subject to Government shall formally state whether, in ratification. accordance with its constitutional procedures, (2) When signing this Protocol each signatory acceptance or approval.

(c) との議定 書に加入すること。

(2)各署名国 政府は、 この議定書に署名するに際し、その署名

が、 とするものであるかどうかを正式に述べなければならない。 自国の憲法上の手続に従つて批准、受諾又は承認を条件

- (1)の 政府及び 月三十日 政 との 府 議 K 協定 よる署名の までロ 定 書 第三十三条又は は、 ンド 千九百六 ため ・ンで、 開 放 + V ずれ - 六年十 第三十四 しておく。 かの従前 一月十 条に掲げるその の議 갣 日 定 から 書 0 디 他 当 年 事国 十二 の国
- (2)١. 認書又は 連合王国政 批准、 受諾 承認又は受諾が必要とされる場 府に 書 は、 ,寄託、 グレー するものとする。 ۱ • ブリテン及び北部アイルラン 合には、 批准 書、 承
- (3)放し アイ 第三十三条又は第三十四条に掲げる国の ならものとする。 との議定書は、 ルランド ておくものとし、 連合王国政府に加入書を寄託することにより 千九百六十六年十二月三十 加入は、 グ レート・ 政府 ブリテン及び北部 自 0 加入のた の後は、 80 協定 開
- (4)Ŧī. るものとする。 票数につい しくは第三十四条に掲げられてい 年 との議定書は、 ておく。 の国際連合砂糖会議に招請 ては、 ただし、 また、 事 前に理事会と当該政府との間で合意す 加入を希望する政府が \mathbb{F} 際連合加盟国 され た政 な 5 もの 府で協定 政府又は千九 理事会で行使す 0 加入のた 第三十三 百 80 一六十 開 条

- Article 33 or 34 of the Agreement. Government of any other country referred to in either of the previous protocols and by the at London from 14 November to 30 December 1966, inclusive, by the Governments party to (1) This Protocol shall be (2) Where ratification, approval or acceptance open for signature
- country referred to in Article 33 or 34 of the be open for accession by the Government of any Kingdom of Great Britain and Northern Ireland accession with the Government of the United Agreement, by deposit of an instrument of 3 Kingdom of Great Britain and Northern Ireland. After 30 December 1966 this Protocol shall

deposited with the Government of the United

is required, the relevant instrument shall be

upon by the Council with but not referred to in Article 33 or 34 of the ment desiring to accede shall first be agreed Agreement, provided that the number of votes the United Nations or any Government invited accession by the Government of any Member of to be exercised in the Council by the Governto the United Nations Sugar Conference, 1965 (4) This Protocol shall also be open for that Government.

Article

have by that date become parties to this (1) This Protocol shall enter into force on 1 January 1967 among those Governments which

第 Ŧ. 条

効力発生 (1) の当事 との議定書は、千九百六十七年一月一日までにとの議定· 国となつた政府の間 同 日に効力を生ずる。ただし、

九五八年砂糖協定の一九六六年の再延長議定書

(2)する 議定 数 そ しく Ŧ õ 九百 法上 もの 六十パ 書 5 V 0 承認 곳 より 0 承 でなけ $\dot{+}$ 1 府 t 続に 書又は 有 セ は、 年 ħ ント 効期 七月 従 ば 又は Ŧ なら ·
及 つ 加入書 間 九 てできる ح ___ Ç が 百 れ \Box な 輸出 延長 六十 VC 50 前 は、 いされ 国 加入するよう努力することを K 六 との 限りすみや その 年 その寄託 0 票数 た協定 十二月三十 議定書 後に の七十パ の日 寄託 K を批 か 基づき ĬČ, に効力を生ずる。 される批 ___ 准 1 日 し、受諾し、 미 K セ 輸 入国 能 ントを有 准 従 なとき 前 書、 Ø 約 票

(3)をそれら が か できる。 たときは、 の 議 定 Ō 政 書 がが 府 第三 Ŧ 0 間 九百 一条の で効 六 要件を + 力を生 七 年一月 ľ 満 さ た せ L 日 ま ることに た政 府 でに は、 ! 効力 同 と の 意 すると を生じ 議 定書 な

さ

る その通

かどうか

を

計

算

する際に 規定する百 |六十]

考慮

VC

入

n つ 前

る。

告

は、

(1)

K

分率

K

5

7 受領

Ō

要件

が

満

連合

围

政府

が千 告

九百

七

年

一月 ŋ

日

K

する場合 1

K

東する旨

0

通

を

ク

V

۲

•

ブ

テ

ン 及び北京

部

ア

ル

ランド

六

ずれ 協 る政 定 74 か 条 又 月 は 府 K 従前 日 掲 又 と の は の議 前 国 議 Ġ 定 K ħ に言及 定書 協定 書に 7 5 色の当 くする場 若 な お しくは 5 事国 玉 て、 で 合 との 特定 となつたもの あ K は、 つ 議 0 て、 定書 協 条に そ 定第三十三条又は 0 0 列 当事国 文 政 記 はその さ 府 ħ が しなった 千 又 政府 id 九百 撂 が 六 第

> shall take effect on the date of their deposit, approval or accession deposited thereafter 1966. tended by the previous protocols on 31 December exporting countries under the Agreement as excountries and 70 per cent of the votes of the Protocol, provided that such Governments hold 60 per cent of the votes of the importing Instruments of ratification, acceptance,

before 1 January 1967, shall be taken into Kingdom of Great Britain and Northern Ireland received by the Government of the United possible and if possible before 1 July 1967, acceptance, approval or accession in accordance containing an undertaking to seek ratification, this Article have been met, requirements In calculating whether the percentage uirements referred to in paragraph (1) of constitutional procedures as rapidly as a notification

satisfied the requirements entered into force, agree to put it into force among (3) If by 1 January 1967 this Protocol has not the Governments which have of Article 3 may themselves.

Article

either has become a party to the Agreement of the any country not referred to in Article 33 in this Protocol to Governments or countries before listed or referred to in particular articles Where reference is made in the Agreement or Agreement the Government of 1 January 1964, or has become a party

分担 金

いるものとみなす。ものは、それぞれ、当該特定の条に列記され、

又は掲げら

ñ

7

第七条

る。 |第三十八条の 定 年 心める。 度の予 との 理 議 事会は、 定 算を承認 書 規 0 との 当 定に基づく自国の 事 議定 国 及び各参加国政府が納付 政 書に基づく第 府 は、 その憲法上の手続に 分担金を支払うことを約束す 回 一会期に j べき分担 お いて、 従つて協定 当該 一金を

第八条

(1) 加入、 千九百 ての政府に · 効力発生 レート 二六十 第五 対 条 Ħ. • 年の 一の日 (2) Ĺ ブ リテン及び北 0 規定 を直ちに通告するものとする。 との 国際連合砂糖会議に代表者を派遣し 議定 に従つて受領し 書 の署名、 部アイルランド 批准、)た通告: 近近び 受諾、 連合王国政府は、 ĸ との議定 承認及び したすべ

(2) 政府 付するものとする。 及 ス ペイン語 び北部アイ は、)の議定 その認証謄 書 の本文をひとしく正文とし、 は、 ルラン 英語、 ۲, 本 連合王国 を各署名国政府及び各加入国政府 中 国語、 政府に寄 フランス語、 託 グレー する ものとし ŀ □ シア語 ٠ ブリ

テンジ

に 、 送 同

九五八年砂糖協定の一九六六年の再延長議定書

either of the previous protocols or to this Protocol, shall be deemed to be listed or referred to accordingly.

Article 7

Governments party to this Protocol undertake to pay their contributions under Article 38 of the Agreement according to their constitutional procedures. At its first session under this Protocol the Council shall approve its budget for the first year and assess the contributions to be paid by each Participating Government.

Article 8

(1) The Government of the United Kingdom of Great Britain and Northern Ircland shall promptly inform all Governments represented at the United Nations Sugar Conference, 1965, of each signature, ratification, acceptance and approval of this Protocol, of each accession thereto, of each notification received pursuant to paragraph (2) of Article 5 and of the date of entry into force of this Protocol.

(2) This Protocol, of which the English, Chinese, French, Russian and Spanish texts are equally authoritative, shall be deposited

with the Government of the United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland, which shall transmit certified copies thereof to each signatory and acceding Government.

文

委任を受け、この議定書に署名した。 以上の証拠として、下名は、このため 各 自の 政府から正当

千九百 六十六年十一月十 四日 K □ ンドンで作成した。

署

名欄省略

IN WITNESS WHEREOF the undersigned, having been duly authorised to this effect by their

Protoco1. respective Governments, have signed this DONE at London, the

S 1 X . November, one thousand fourteenth day of nine hundred and sixty-

0 般 照 照 4 0 を 事 九 存 五 が 及 情 ÇĽ, 続 K 八 作 年 成 ñ さ ょ され 協 せる b Ø 压 定 成 の有 た た。 立 際 た一九 め す 砂 VC. 3 効 糖 ح 期間 0 K 協 五八年 至 定 司 5 九 を 協 有 六 そ な 定 六 を 二 Ø 0 か 効 年 後 期 砂 0 さら た 簡 間 糖 Ø た 協 再 年 Ŧī ъ, 年、 延 K 延 定 をさら 長 長 議 す 箶 玉 条 定 Ź 際 年 Ŕ = 書は、 延 砂 集 九六三 長 糖 第 つする 箇年 理 \equiv 事 九 年 存 슾 九 九 続 六 0 0 π Ŧī. 議 機 号 さ 六 せる 参 Ŧī. 年 定 構 照 年 書 K Ø た 議 (条 関 0 を め 議 す 定 引き Ź 書 定 約 の b 集 VC 書 条 第 項 継 0 ょ ぐた b 条 及 で 六二八 約 U あ とる。 九六六年 集 若 め 第 干 0 号 Ø 新 Ó 六二八号 関 協 末まで (参考 連 定 条 が 項 諸

有

効期

間

が延長され

参

考